

# メールマガジン 埼玉県議会



発行：埼玉県議会



No.253 2018.9.21

## 県議会広報テレビ「こんにちは県議会です」 9月16日(日曜日)放送「常任委員会だより2」

県議会広報テレビ「こんにちは県議会です」(テレ玉)では、各定例会の様式や各委員会委員長のインタビューなど県議会に関するさまざまな情報を放送しています。

今号のメールマガジンでは、9月16日(日曜日)に放送した「常任委員会だより2」をご覧になれなかった方のために、内容をお伝えします。



[☆放送スケジュールなどは、県議会のホームページをご覧ください。≫](#)

### INDEX



#### 県議会広報

こんにちは県議会です  
「常任委員会だより2」

- ・産業労働企業委員長
- ・県土都市整備委員長
- ・文教委員長
- ・警察危機管理防災委員長



#### 議事堂の花

生け花のご紹介



### 県議会広報

#### 【こんにちは県議会です「常任委員会だより2」】

#### ◆産業労働企業委員会 山下勝矢 委員長◆

産業労働企業委員会は、産業労働部、企業局、労働委員会に関する

事柄を所管し、労働条件の向上、雇用対策の推進、商工業の振興、中小企業金融対策、観光資源の利用促進、水道事業などについて審査を行う委員会です。

委員長 皆さま、こんにちは。委員長の山下勝矢です。埼玉経済のさらなる発展のため、「働き方改革」の推進や産業振興、中小企業の支援などに力を注いでいきたいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。



—「働き方改革」の推進というお話がありましたが、委員長のお考えをお聞かせください。—

委員長 日本の産業界全体に衝撃を与えているのが「働き方改革」です。これは埼玉県民にとってチャンスだと考えております。埼玉県民は通勤時間が長く、それに伴い睡眠時間が全国一短いという特徴があります。また、働く女性の割合は増えてきているものの、30代の就業率が顕著に落ち込む「M字カーブ」の谷の深さは全国でも高い水準にあります。こうした状況を「働き方改革」で改善したいと考えております。

—具体的にはどういった取り組みが必要でしょうか。—

委員長 長時間通勤など県民の労働環境の改善に向けて、IT技術を活用した在宅勤務の推進や長時間労働の是正を進めます。また、女性が働きやすい社会をつくるために、仕事と育児の両立ができる職場づくりなどに取り組みます。

—産業振興についてはいかがですか。—

委員長 昨年12月、県西部地域にAIと言われる人工知能などを駆使した未来産業を集積させる「埼玉県鶴ヶ島ジャンクション周辺地域基本計画」が策定されました。この計画を実現すべく、取り組みを確実に前へと進めていきたいと思っております。

さらに、昨年2月には圏央道の茨城県区間が、今年6月には外環道の三郷南-高谷区間がそれぞれ開通しました。これにより物流の円滑化や観光客の増加など、さまざまな効果が期待されます。この機会を捉えて積極的に企業誘致を進め、県内の産業振興や雇用の創出につなげていきたいと考えております。

—中小企業の支援にも力を入れていきたいとのことですが、いかがですか。—

委員長 県内企業の99%を占める中小企業を支援することで、経済が活性化することはもちろんですが、中小企業はまちづくり、福祉、教育や防災・防犯の中核にもなっております。引き続き積極的に支援・育成に向けて取り組み、埼玉県全体の活性化につなげていきたいと思っております。

—今後の抱負をお聞かせください。—

委員長 埼玉に住み、そして働くことこそ全国一幸せなワーク・ライフ・バランスだと言われるような埼玉県をつくっていききたいと思っております。

## ◆県土都市整備委員会 荒木裕介 委員長◆

県土都市整備委員会は、県土整備部、都市整備部、下水道局、収用委員会に関する事柄を所管し、道路事業・河川事業の推進、公園・下水道の整備や管理などについて審査を行います。

委員長 こんにちは。委員長の荒木裕介です。まずは西日本豪雨や北海道胆振東部地震によって被害に見舞われた方々に心よりお見舞いを申し上げますとともに、一日も早いさらなる復旧・復興をお祈り申し上げます。さて、わが県土都市整備委員会では、県民の皆さまの生活を支える基盤づくりという重要な役割を担う委員会として、委員一同、一生懸命日々取り組んでおります。どうぞよろしくお願いいたします。



—委員長としてどのような分野に力を入れて取り組まれているのでしょうか。—

委員長 まずは道路整備です。交通網の充実は、産業支援や地域振興に重要な役割を果たします。交通の要衝である県の魅力を最大限に生かし、活力あふれる産業と魅力ある地域が融合した「元気な埼玉」をさらに発展させるため、高速道路へのアクセス道路や幹線道路のネットワークの整備を力強く推進していきたいと思っています。

さらに、開催が近づいているラグビーワールドカップ2019や東京2020オリンピック・パラリンピックの成功に向けた会場周辺の整備や、選手や観客の円滑な輸送を確保するためのインフラ整備もしっかりと進めてまいります。

—どちらの大会も国内外から多くの方が訪れますね。—

委員長 そうですね。現在、会場となる施設の整備のほか、ラグビーワールドカップ開催地の熊谷市では円滑な観客輸送の実現のため「SAITAMAラグビーロード」の整備に取り組んでおります。また、川越市と秩父市では、街路整備や景観形成による街の活性化の実現のため「SAITAMAおもてなしロード」の整備を行っております。これらを着実に進め、今回の大会開催を契機として、景観そのものが大会レガシーとなるような魅力的なまちづくりを進めていきます。

—近年、記録的な豪雨に伴う被害が相次いでいますが、治水対策についてはいかがでしょうか。—

委員長 先ほど申し上げました西日本豪雨や、また、3年前に発生した関東・東北豪雨など、最近では、台風や集中豪雨による浸水などの被害が、県内でも多発しております。こうした被害を防止するため、計画的に河川整備を進めるなど、総合的な治水対策にも力を入れて取り組んでいきたいと思っております。

—下水道についてはいかがですか。—

委員長 下水道は県民の快適な生活環境を支える重要なライフラインですが、耐震化や浸水対策の推進などが課題となっております。災害時にその

機能を果たせるよう、災害対策を計画的に進めていくことが必要であると考えております。

—今後の活動について、お考えをお聞かせください。—

**委員長** 県民の皆さまの暮らしが安全で快適なものとなるよう、委員会審議を通じて全力で取り組んでまいります。

#### ◆文教委員会 柿沼トミ子 委員長◆

文教委員会は、教育委員会に関する事柄を所管し、義務教育、高等学校教育、特別支援教育の充実や生涯学習の推進、文化の振興などについて審査を行います。

**委員長** こんにちは。委員長の柿沼トミ子です。未来を担う子どもたちの教育はもちろん、誰もが生涯生き生きと学べる社会の形成を目指して取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



—教育は人間形成の土台となる大切な分野ですね。—

**委員長** その通りです。学力向上、いじめ、不登校などの課題に取り組んでいくことはもちろんですが、今の子どもたちに、私たち大人が何を伝えていくべきかという視点が重要だというふうに思います。

日本の伝統文化は世界に誇れるものがたくさんありますね。私たちの周り、書道や華道、茶道、そして剣道、あるいは合気道、「道」と付くものには精神力がたくさん含まれております。また、外国人の方は、落とし物を交番に届けるその道徳心に感動しております。そうした日本人の精神や道徳心を子どもたちに教えるということは、私たち大人の教育の根幹だというふうに考えております。

—世界に羽ばたいていくためにもまずは日本について知らないといけないですね。—

**委員長** そうですね。以前、国連本部を訪問した折に、「日本の若者に日本の歴史、文化、そういったものをもっと教育してください」というふうに言われたことがありまして、それが頭に残っております。また、領土ということを考えてみましても、北方領土の中の択捉島が四国の次に大きいということを知らない学生がたくさんいます。自分たちの国を知ることとはとても大事です。

国際化、情報化が進んでおります。世界はどんどん近くなっておりますが、その中で日本人として自信を持ってたくましく生きていく力、これからを構築していく力。それらをつけていくのが教育の大前提だと私は考えております。

—生きる力という、家庭での教育も重要になってきますね。—

**委員長** そうですね。家庭内で子どもが被害者となる事件には、本当に心

が痛みます。学校や家庭だけでなく、フィンランドのネウボラのように、地域全体で子どもたちを見守って、育てていくことがとても大事なことだというふうに思っております。

—昔は地域の大人が、よその家の子どもを叱るというのも当たり前でしたね。—

**委員長** はい。これからはシニア世代の方の活躍は教育の分野でも重要になります。

シニア世代の方には、豊富な経験や知識を、今の若い親世代やその子どもたちの世代に伝えていただき、一緒に社会を支えていただきたいと思いますと考えております。

—今後の抱負をお聞かせください。—

**委員長** 学校教育はもちろん、家庭教育や生涯学習、文化の振興など、誰もが生き生きと学べる教育環境の充実のため、委員一同、力を合わせて取り組んでまいります。

#### ◆警察危機管理防災委員会 日下部伸三 委員長◆

警察危機管理防災委員会は、公安委員会、危機管理防災部に関する事柄を所管し、警察行政の総合的企画・調整、消防や防災、危機管理の強化などについて審査を行います。

**委員長** こんにちは。委員長の日下部伸三です。埼玉県の安心・安全のため、委員一同、全力で取り組んでおります。どうぞよろしくお願いいたします。



—警察分野について、委員長のお考えをお聞かせください。—

**委員長** 振り込め詐欺をはじめとする特殊詐欺や高齢者の交通事故などは依然として大きな社会問題となっています。

これらの課題は未然に防ぐことがベストであるのは言うまでもありません。

特殊詐欺については県民への啓蒙活動と検挙率の向上、高齢者の交通事故については講習の充実と免許証の返納などが挙げられますが、免許証を返した後の高齢者の交通手段、特に役所と病院への足を考えなければなりません。

そのためには警察と福祉との連携が重要になってくると考えております。

—具体的にはどのようなことでしょうか。—

**委員長** 先ほど高齢者の交通事故の問題を取り上げましたが、今後は行政の横のつながりを強化しないとさまざまな問題に対応できないと考えております。

今年3月に東京都目黒区で5歳の女の子が虐待で亡くなるという大変痛ましい事件が起きました。

この事件を受けて、8月1日から県内の児童相談所が把握した虐待情報をすべて埼玉県警と共有する取り組みが始まりましたが、今後、相互にどこまで踏み込めるかがポイントだと思っています。

—危機管理の分野についてはいかがですか。—

**委員長** 危機管理の分野においても横のつながりの強化が重要だと考えております。今年6月、大阪の地震で小学校のブロック塀が倒れて9歳の女の子が亡くなりました。確かに実務レベルでは学校のブロック塀の所管は教育委員会、県庁の建物は総務部の管財課、大宮公園は都市整備部の公園スタジアム課、一般の建築物は都市整備部建築安全課の所管となるわけですが、県内の危険建築物の情報は危機管理防災部で統括的に把握する必要性を感じております。

—今後の活動について、お考えをお聞かせください。—

**委員長** 少なくとも防災、防犯に関する情報は出来るだけ全庁的に共有して、縦割り行政を打破していくことが県民の安心・安全につながると考えております。

[▲トップへ](#)

## 議事堂の花

このコーナーでは、議事堂ホールに飾られた生け花をご紹介します。

【協力 埼玉県いけばな連合会】



展示期間：  
9月11日  
～9月14日  
作者：  
古流松東会  
芳埜理鳳様  
花材：枝垂れ  
柳(シダレヤナギ)、ムクゲ

◇◆生け花の作者の方に聞きました！◆◇



〈古流松東会 芳埜理鳳様〉

Q. 柳の枯れ枝が、見違えるように生き生きとしましたね。

A. きれいな花をきれいに生けることも良いのですが、私は枯れたものや捨てられてしまうようなものでも、生け手が感じ取り、見る方に何かが伝われば面白い作品になると思っています。

Q. 生け花をととても楽しまれているんですね。

A. 生け花というと花ばかりを見てしまいがちですが、「華道」は華を生ける行為を通じて生き方を学ぶものだと思っています。花材である花や枝に、どう生けてほしいか尋ねながら、伸び伸びと楽しんで生けました。

[☆過去に展示された生け花は、県議会のホームページから》](#)

[▲トップへ](#)

【注意】

●メールマガジンにおいて氏名の一部にJIS規格第1・第2水準にない文字がある場合、第1・第2水準の漢字で表記しています。

【お問い合わせ】

●[「メールマガジン埼玉県議会」の登録・解除はこちらから》](#)

※登録事項(メールアドレスなど)を変更する場合には、お手数ですが、変更前のメールアドレスを一度解除してから新規に登録してください。

●「メールマガジン埼玉県議会」についてのお問い合わせ・感想はこちらまで！

E-mail [a6250-03@pref.saitama.lg.jp](mailto:a6250-03@pref.saitama.lg.jp)

埼玉県議会事務局政策調査課

〒330-9301 さいたま市浦和区高砂3-15-1 電話 048-830-6257 / FAX 048-830-4923



Copyright 2008. Saitama Prefectural Assembly 無断転載を禁じます。